

(臨床研究に関する公開情報)

江南厚生病院では、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究にカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名]

前方経路腰椎椎体間固定術に関する研究

[研究責任者]

江南厚生病院 整形外科 都島 幹人

[研究の概要]

超高齢社会において変性（加齢性の変化）に伴う脊椎（せぼね）の変形や全身バランスが悪化すると、腰部脊柱管狭窄症や神経狭窄などにより、生活の質の低下することが知られています。腰仙椎の手術において、直近 10 年ほど腰椎の生理的なアライメント(並び・角度)の再獲得の重要性が求められておりますが、腰仙椎での再獲得は前方（腹部）から進入する手術では血管障害のリスクなどから避けられる傾向があり、従来後方（背部）からの角度の小さいケージで手術をおこなってきました。しかし、当院では血管外科医と共同で手術を行うことで、そのリスクを低減し、より大きなケージをいれることで生理的なアライメントの再獲得を目指した治療を行っています。

本研究では、従来の後方法と比較して、前方進入法の手術成績を評価することで、前方法の有用性を評価するとともに、血管外科との共同手術がもたらす影響について明確に示すことを目標としています。

[研究の方法]

●対象となる方

2019 年 4 月 1 日以降、当院整形外科・脊椎脊髄センターにて腰仙椎固定術を前方法にて行った方を対象としています。

●利用する情報

年齢、性別、身長、体重、既往など手術当時の問診データ

レントゲン画像からの脊椎骨盤の変性、アライメント数値 等

[個人情報の取扱い]

この研究では、お名前、住所など、対象者を直接特定できる個人情報は使用しません。研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も対象者を特定できる個人情

報は利用しません。

[問い合わせ先]

- 研究責任者：江南厚生病院 整形外科・脊椎脊髄センター 都島 幹人
電話 0587-51-3333 FAX 0587-51-3337